

# 短い物語P&D 『世界の果て～ 背中』

KANZYU RYO (環樹涼)

## 短い物語P&D『世界の果て～背中』

---

常に上から威圧的に見おろす。

暴力と破壊がちらつく。

それは、小人が思う巨人。

何を考えているのか分からない。

群れて見上げる視線は、蔑むかのよう。

それは、巨人が思う小人。

互いに不快感を抱きながらも、衝突する勇気は無い。

定期的にレッジカウンの谷で行われる交易は、

本音を隠したまま向かい合う歴史だった。

しかし、ある夜の出来事が、

あの谷のように深かった両者の溝を埋めた。

「相手を察する」

ある日、大地は激しく揺れた。

僅かな時間だったけれど、巨人と小人を脅した。

その恐怖は、次の一手も知っていた。

やがて、音を立てずに遠くから便りが届くはず。

それでも、やるべきことがあった。

小人の集落を守るため、千人の巨人が肩を組んで海岸に立ち並んだ。

海に背を向け、高い波を待った。

小人は、大人も子供も、巨人が育てている作物の種を背負い、高台へ運んだ。

時々、振り返り、巨人が築いた壁を見つめた。

僕は時々、「ある夜の出来事」を想像する。 ～終わり

## 作品データ

---

【画】

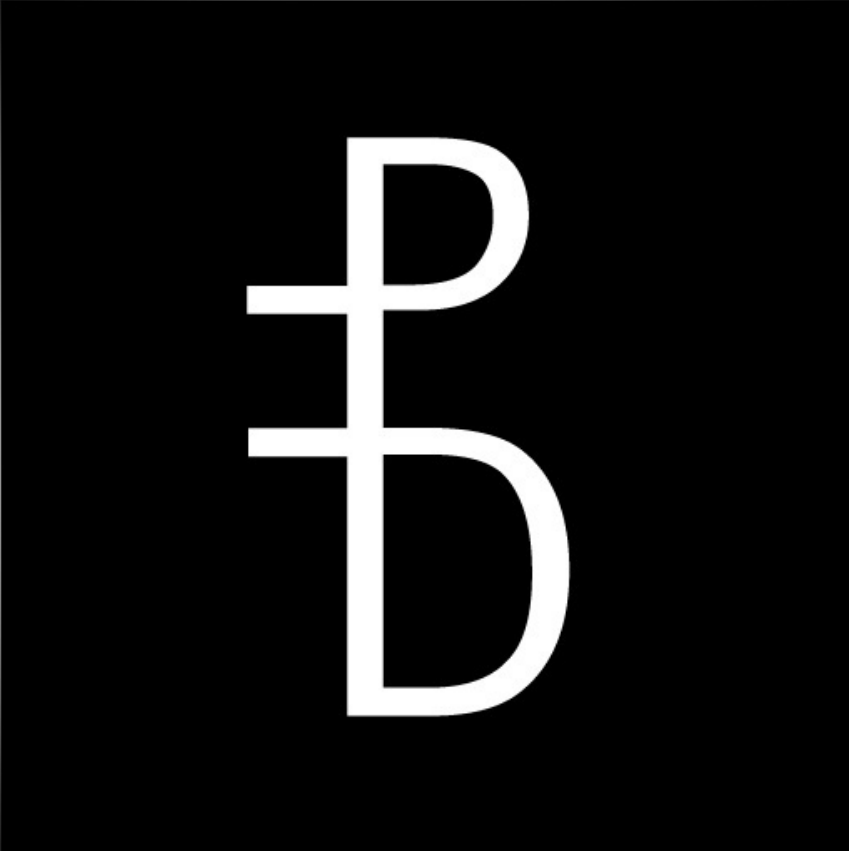
□タイトル(Title) : 『世界の果て～背中』

□作家名(Artist) : 環樹涼(RYO KANZYU)

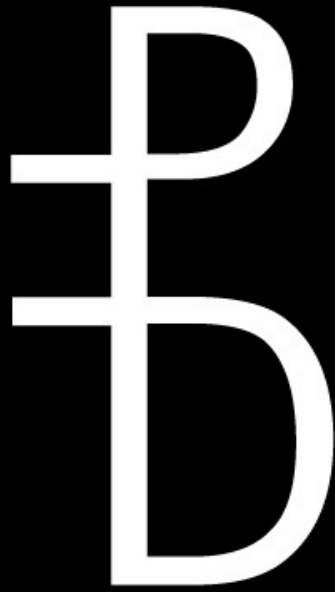
□制作年 : 2014

□技法 : ボールペン

□作品サイズ(縦×横) : B5サイズ相当の画用紙を使用。



P

A stylized white logo consisting of two mirrored, overlapping letters 'P' and 'D' on a black background. The 'P' is on top and the 'D' is on the bottom, with their stems overlapping in the center.

※『短い物語P&D』を表す絵画は、主にリアル展示による公開です。／物語はKindle・Koboにて配信中！